

きれいな海で遊びたいプロジェクト 「海の恵み 昔ながらの塩作りと地引網体験」について

きれいな海であそび隊プロジェクトは、日本財団のご支援をいただき、親子で海をきれいにして、きれいになった海での体験活動を行なうプログラムです。

日 時：2011年9月23日～9月24日
場 所：大磯町商工会館（講義）、神奈川県中郡大磯町こゆるぎの浜
参加人数：1日目：30名 2日目：44名
助 成：日本財団
後 援：大磯町、大磯町教育委員会、（財）かながわ海岸美化財団、
（財）海上保安協会海守事務局
協 力：（財）塩事業センター、台舟、大和株式会社

今回のきれいな海であそび隊プロジェクトは、「海の恵み 昔ながらの塩作りと地引網体験」を実施しました。昔ながらの塩作りを学び、実際に作り、同時に海岸清掃や地引き網を体験することで、海から得られる恵みのありがたさを感じていただきたいと企画しました。イベントは2日間で計画し、それぞれの日で参加を受け付けました。

○9月23日（1日目）

大磯町商工会館の会議室をお借りして、塩作りの歴史や、塩田作りについての講義を行いました。今ではどこでも手軽に手に入る塩が、昔はどうやって作っていたのか学んで、塩作りの大変さを感じていただきました。



その後、実際に浜に出て、塩田を作りました。作った塩田は、翌日本格的に塩を作ります。しかし、翌日は参加できない子供たちもいたため、練習も兼ねて少量の塩を作りプレゼントしました。



○9月24日（2日目）

今日は最初から海岸に集合です。さっそくゴミ拾いをはじめました。



ゴミ拾いのさなか、網を引け！の合図が！ いったんゴミ袋を置いてみんなで地引網です。



相模湾の活きの良い魚がどんどんあがります。びちびち跳ねます。しらすもたくさんとれました。捕れた魚はお昼ご飯においしくいただきました。



あわただしいゴミ拾いでしたが、台風の直後ということもあり、10袋以上のゴミが集まりました。次はいよいよ塩作りです。

おいしいお魚を食べた後は、本格的に塩作りです。



昨日作った塩田に、海水をまいては乾かしと繰り返して、塩分が沢山含まれた砂を作ります。



その砂を集めてぬいと呼ばれる樽に入れます。その上から海水を入れて濾過すると、濃い塩水が出てきます。鍋でこの濃い海水を煮詰めて、塩を取り出しました。

少しの塩を取るのに、どれだけ大変か、塩がどれだけ大切なものか感じていただきました。

今回のイベント実施にあたり、地引網を行っていただいた台舟様、道具をお借りした大和株式会社様、講義場所を提供いただいた大磯商工会議所、塩作りの資料を提供いただいた(財)塩事業センター、大磯町と大磯町教育委員会、(財)海上保安協会海守事務局、(財)かながわ海岸美化財団の皆様からご後援、ご協力を頂きました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

私たち「水と緑の環境ネットワークの会」では、今後も、山、川、海の自然をフィールドにした環境保全活動を計画しています。

皆様のご参加、ご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。